

事業番号	事業名	内容	対象外 項目番号
1	都市計画審議会事業	都市計画審議会開催・運営に関すること	②
2	県都市計画実務担当者連絡協議会	幹事町として会議の運営を行う	⑤
	まちづくり推進事業		
3	大磯町まちづくり条例事業	大磯町まちづくり条例の運用を行う	②
4	まちづくり基本計画事業	次期「大磯町まちづくり基本計画」の策定を行う	⑥
5	まちづくり審議会事業	まちづくり審議会の開催・運営に関すること	②
6	住居表示事業	住居表示関連業務全般	①
7	空き家、住環境施策事業	空き家、住環境に関する相談等の対応、空家等対策協議会の開催・運営に関すること、空家等対策計画を策定する	-
8	自転車ネットワーク計画事業	自転車ネットワーク計画の運用を行う	⑥
	開発建築事業		
9	都市計画法第32条同意協議事業	開発行為に対するまちづくり条例に基づく指導調整	⑦
10	都市計画法第43条申請経由事業	都市計画法に基づく申請の経由事務	①
11	建築確認申請経由事業	建築確認申請の経由事務	①
12	建築協定事業	建築協定に関する事務	⑦
13	開発事業紛争調停委員会事業	開発紛争調停委員会に関する事務	①
	景観づくり事業		
14	景観施策企画・調整・運用事業	景観施策の企画及び総合調整に関すること	⑥
15	景観重要建造物事業	景観重要建造物の指定に関すること	⑦
16	景観応援団事業	景観応援団の開催、事務	⑦
17	歴史的建築物の保存及び活用に関する条例事務	新規条例の制定と、県建築審査会への条例説明	⑦
	耐震改修促進事業		
18	耐震改修補助事業	住宅の耐震診断及び耐震補強工事等の補助に関する事務、ブロック塀の撤去費の補助に関する業務	-
19	建築物震後対策事業	県建築物震後対策会議等の出席	⑥
	都市交通推進事業		
20	都市交通事業	廃止路線のバス運行補助を行う。また、西小磯の一部地区に乗合タクシーの運行委託を行う。	-
21	都市交通研究事業	新たな交通システムの検討	⑥
22	地域公共交通会議事業	大磯町地域公共交通会議の開催・運営に関すること	②
	歴史的建造物等維持管理事業		
23	歴史的建造物等整備事業	歴史、文化、生活を現在に伝える歴史的又は文化的価値の象徴となる建造物の保全及び活用を図る	-
	大磯駅前用地維持管理事業		
24	大磯駅前用地維持管理事業	旧駐輪場跡地及びその他用地について、広く一般に開放するため、維持管理を行う	⑤
	公園運営事務事業		
25	都市公園運営事業	公園運営における各種事務処理、会合出席	⑦
26	公園緑地維持管理事業	既設公園緑地の清掃・除草・清掃ゴミの収集運搬、樹木の剪定、遊具の点検等、公園緑地里親制度事務	-
	運動公園維持管理事業		
27	運動公園維持管理事業	指定管理者制度に基づき大磯運動公園の管理を行う	-
	児童遊園維持管理事業		
28	児童遊園維持管理事業	山王町児童遊園(なかよし公園)を適正に維持管理するため、委託による清掃等を行うとともに、遊具の安全点検等施設の維持管理を行う	-
	明治記念大磯邸園維持管理事業		
29	明治記念大磯邸園維持管理事業	明治記念大磯邸園の開園した区域の除草や剪定などの維持管理を行う。	⑤
	公園トイレ改修事業		
30	公園トイレ改修事業		③

事業番号	事業名	内 容	対象外 項目番号
	明治記念大磯邸園整備事業		
31	明治記念大磯邸園整備事業	大磯町総合計画やまちづくり基本計画等に位置付けられた「歴史的建造物等のある風景の保存や活用」「地域特有の環境保全と緑の環境形成」「地域資源を生かした観光の整備」を図るため、国と地方公共団体が連携して明治記念大磯邸園の整備を進める	③
	花とみどり推進事業		
32	花とみどり推進事業	地域の緑を守り育てる活動を推進し、市街地における緑地を保全する。	-
33	緑の基本計画事業	みどりの基本計画の運用	⑥
	みどり基金積立事業		
34	みどり基金積立事業	町に残された自然環境や歴史的環境を保全するとともに、緑化の推進を図る事業の財源とするため、必要な経費を積み立てる	⑦
	松くい虫被害対策自主事業		
35	松くい虫被害対策自主事業	松くい虫の防除として、樹幹注入及び松の伐倒、また、抵抗黒松の苗木配布	-
	森林病害虫等対策自主事業		
36	森林病害虫等対策自主事業	カシノナガキクイムシ虫の防除として、樹幹注入及び松の伐倒	④
	公園災害復旧事業		
37	公園災害復旧事業	公園施設等が災害により、被害を受けたとき復旧等を行う	③
	その他		
38	課内庶務事業	文書照会回答、課内各種集計等	⑦
39	国土利用計画法事業	国土法届出に関する業務	⑦
40	公有地の拡大の推進に関する法律 業務	公拡法届出に関する業務	⑦
41	社会資本整備総合交付金事業	社会資本整備総合交付金に関する事務	⑦
42	大磯駅前広場整備事業	大磯駅前広場整備計画概略図の作成	⑥

事業 番号	事業名	持続可能な開発目標(SDGs)																
		G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	G10	G11	G12	G13	G14	G15	G16	G17
	明治記念大磯邸園整備事業																	
31	明治記念大磯邸園整備事業			○	○				○			○						○
	花とみどり推進事業																	
32	花とみどり推進事業			○	○				○			○						
33	緑の基本計画事業			○	○				○			○						
	みどり基金積立事業																	
34	みどり基金積立事業											○				○		○
	松くい虫被害対策自主事業																	
35	松くい虫被害対策自主事業											○				○		
	森林病害虫等対策自主事業																	
36	森林病害虫等対策自主事業											○				○		
	公園災害復旧事業																	
37	公園災害復旧事業											○				○		
	その他																	
38	課内庶務事業											○						
39	国土利用計画法事業											○				○		
40	公有地の拡大の推進に関する法律 業務											○				○		
41	社会資本整備総合交付金事業			○	○				○			○						○
42	大磯駅前広場整備事業			○								○						

予算事業名	まちづくり推進事業				事業番号	03 - 12 - 07					
細分事業名	空き家、住環境施策事業				シート作成日	令和3年11月19日					
予算科目	会計	01	款	08	項	04	目	01	事業	03	
	事業開始年度										平成25年度
事業終了予定年度										—	
部等名				課等名				係名			
都市建設部				都市計画課				開発指導係			

事業計画 (Plan)	総合計画	P 66	柱	Ⅲ 快適でくらしやすいまちづくり			
			部門	20 住宅・住環境			
			大施策	A 良好な居住空間の形成			
			中施策	(3) 空き家等対策の推進			
			施策目標	空き家の等の適正な管理及び利活用の促進			
	根拠法令・条例等		空家等対策の推進に関する特別措置法				
	個別計画等		大磯町空家等対策計画				
	行政経営プラン 実施計画事業		実施番号	—		実施項目名	—
	目的 (何のために)		適切な管理が行われていない空家等が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしており、地域住民の生命・身体・財産の保護、生活環境の保全、空き家等の活用のため				
	対象 (誰を・何を)		空き家の所有者、利活用希望者、事業者等、新たな空き家対策の担い手や連携体制				
内容		空き家に関する協定団体や神奈川県居住支援協議会の知識や経験を生かして、空き家の予防・管理・利活用を促進する。					

事業実施 (Do)	執行体制		その他				
			単位	H30年度 (決算)	R01年度 (決算)	R02年度 (決算見込)	R03年度 (予算)
	直接事業費 (a)		千円	33	36	167	2,282
	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金					1,540
		起債					
		その他					
	一般財源			33	36	167	742
	職員人数 (概算職員数)		人	0.60	0.57	0.76	0.76
	人件費計 (b)		千円	3,261	3,357	4,235	4,218
総事業費 (a) + (b)		千円	3,294	3,393	4,402	6,500	
事業費内訳 (千円) R 03 年度		報酬157千円、報償費10千円、旅費4千円、使用料及び賃貸借料2,100千円、負担金補助及び交付金11千円					
本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値		
		空き家バンクの登録・活用件数			10件以上		
指標名		単位	項目	R01年度 (決算)	R02年度 (決算見込)	R03年度 (予算)	R07年度 (目標)
対象指標 (対象者数等)	空き家に関する相談受付件数	件	—	73	126	90	90
活動指標 (活動量)	空き家に関する広報・印刷物などの周知活動や実態把握など	回	計画値	5	6	8	10
			実績値	9	8	—	—
成果指標 (達成度等)	空き家物件新規登録数	件	目標値	1	1	10	10
			実績値	1	2	—	—
			達成率	100.0%	200.0%	—	—
定性的成果		—					

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	③ 増大している		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	④ 町民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	② 事業の方向性は適切であるが、手法は見直す余地がある		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-③ 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない	
	過去の外部評価における指摘事項	—			
	主な改善経過 (過去4年間)	H28 大磯町空家等対策に関する指針策定、空き家に関する専門家団体と協定締結 H29 協定団体の追加 所有者アンケートの実施 H30 プランニングノートの配布、区長会によるマッピングの実施、地域会館での周知活動 R01 講演会の開催、インターンシップの受入れ、空き家情報のデジタル化 R02 空き家対策協議会の設置、区長会による空き家マッピング調査の実施、 空き家バンクの運用・マッチング、広報や地域ケア会議（高齢者支援）での周知活動			
課題 (事務の効率化)	空き家情報のデータベース化、空き家の所有者、利活用希望者、事業者を結ぶ新たな担い手の確保				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	拡充	R02年度	拡充	R01年度	拡充	H30年度	維持	
		理由	空家等に対する適切な管理と予防の推進を図り、利活用可能な空き家については空き家バンク等への登録、利活用希望者へのマッチングを促し、良好な住環境の維持及び地域の活性化へつなげていく。							
	課題解決への視点	空家については、少子高齢社会の影響で増加することが見込まれており、町内には相談対応するための不動産業を始めとした事業者や空き家を利活用したいと希望する個人・団体からの問い合わせもある。必要な主体は揃っているが、流通せずに放置されたままの空き家が数多く存在する。空き家に関する各主体をつなぐ仕組みづくりの必要がある。								
	着手する事項	R03年度	空家等対策計画を策定し、空き家の予防・管理・活用のための施策を展開する。民間の空き家データを活用し、空き家の全体把握、空き家台帳の整備、運用を行う。							
		R04年度	空き家の予防・管理・活用のための施策を展開する。（空き家予防セミナー、相談会等の開催）空き家に関する主体間の連携の仕組みや組織を立ち上げ運用を行う。							
	R03年度改善事項	空家等対策計画を策定、施行し、空き家の予防・管理・活用のための施策を展開した。民間の空き家データを活用し、空き家の全体把握を行った。空き家所有者への意識調査を行い、利活用希望などの空き家データを整理及び整備を行った。空き家所有者へ、空き家バンクへの物件登録の促進等を行い利活用を図った。								
	記入日	令和4年3月18日								

予算事業名	耐震改修促進事業						事業番号	03 - 12 - 18				
細分事業名	耐震改修補助事業						シート作成日	令和3年11月19日				
予算科目	会計	01	款	08	項	04	目	01	事業	06	事業開始年度	平成18年度
											事業終了予定年度	—
部等名				課等名				係名				
都市建設部				都市計画課				開発指導係				

事業計画 (Plan)	総合計画	P 66	柱	Ⅲ 快適でくらしやすいまちづくり							
			部門	20 住宅・住環境							
			大施策	A 良好な居住空間の形成							
			中施策	(2) 都市防災機能の整備							
			施策目標	誰もが安心して生活することができる災害に強いまちづくりを推進します。							
	事業の概要			根拠法令・条例等	建築物の耐震改修の促進に関する法律						
				個別計画等	大磯町耐震改修促進計画、大磯町住宅耐震化補助金交付要綱						
				行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—		実施項目名	—		
				目的 (何のために)	地震時の住宅の倒壊等による人的被害の軽減を図るため						
				対象 (誰を・何を)	昭和56年5月31日以前に建築確認済証を取得した住宅						
			内容	耐震診断、耐震補強設計、工事監理、耐震補強工事を推進するため、その経費の一部を補助する。							

事業実施 (Do)	執行体制		その他					
			単位	H30年度 (決算)	R01年度 (決算)	R02年度 (決算見込)	R03年度 (予算)	
	直接事業費 (a)		千円	2,331	1,363	1,063	2,465	
	財源内訳	国庫支出金	千円	1,026	475	403	1,103	
		県支出金		624	381	309	660	
		起債						
		その他						
		一般財源		681	509	351	702	
	職員人数 (概算職員数)		人	0.35	0.21	0.28	0.28	
	人件費計 (b)		千円	1,772	1,112	1,502	1,492	
総事業費 (a) + (b)		千円	4,103	2,475	2,565	3,957		
事業費内訳 (千円) R 03 年度		報償費45千円、需用費88千円、負担金補助及び交付金2,332千円						
本事業が属する総合計画の中施策の成果指標			指標名			目標値		
			住宅の耐震化率			90%		
指標名			単位	項目	R01年度 (決算)	R02年度 (決算見込)	R03年度 (予算)	R07年度 (目標)
対象指標 (対象者数等)	耐震性のない住宅総数	戸	—	3,904	3,783	—	—	
				計画値	3	6	2	3
活動指標 (活動量)	耐震改修実施戸数	戸	—	実績値	9	—	—	—
				目標値	78.05	76.84	78.91	—
成果指標 (達成度等)	耐震化率	%	—	実績値	73.09	74.02	—	—
				達成率	93.6%	96.3%	—	—
定性的成果			—					

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	A. 負担導入済	A-② 適正な受益者負担を導入している	
	過去の外部評価における指摘事項	H24年 B評価 耐震改修促進計画の目標とする耐震化率に達するためには、更なる啓発が必要となる。			
	主な改善経過(過去4年間)	H29 緊急輸送道路の住宅及び非課税の世帯に対し、補助額を増額した。 H30 所有者の負担軽減のため、補助金の委任払制度を開始した。 R01 耐震診断を利用しやすくするため、補助率を引き上げた。 R02 個別の住宅耐震相談会を実施した。			
課題(事務の効率化)	耐震診断等に対し、補助額に上限があるため、一部自己負担が必要になる。近隣市町村の補助要件なども参考に、補助要件や上限額を見直す必要がある。				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	縮小	R02年度	縮小	R01年度	縮小	H30年度	縮小	
		理由	旧耐震基準の家屋の老朽化が進んでいるため、経費を掛けて家屋の耐震化を進めたいと希望する所有者は少ない。							
	課題解決への視点	耐震化事業の利用とともに、老朽家屋の除却を促進させる必要がある。								
	着手する事項	R03年度	空き家の3,000万円控除制度を周知し、家屋の耐震化や除却を促進する。対象を耐震補助制度に限らず耐震相談会を開催することによって、建築物の安全性に対する住民の不安や疑問に対応することにより、災害に強いまちづくりへの理解を深める。							
		R04年度	空き家の3,000万円控除制度を周知し、家屋の耐震化や除却を促進する。対象を耐震補助制度に限らず耐震相談会を開催することによって、建築物の安全性に対する住民の不安や疑問に対応することにより、災害に強いまちづくりへの理解を深める。							
	R03年度改善事項	耐震促進事業の周知のため、広報やホームページ等への掲載のほか、チラシを作成し納税通知へ同封した。								
	記入日	耐震相談会(事前予約制)を実施した。								
	令和4年3月18日									

予算事業名	都市交通推進事業						事業番号	03 - 12 - 20			
細分事業名	都市交通事業						シート作成日	令和3年11月19日			
予算科目	会計	01	款	08	項	04	目	02	事業	06	
	事業開始年度										平成18年度
事業終了予定年度										—	
部等名				課等名				係名			
都市建設部				都市計画課				都市計画係			

事業計画 (Plan)	総合計画	柱	V 元気や活力が生まれるまちづくり								
		部門	28 道路・交通								
		大施策	B 快適な交通サービスの形成								
		中施策	(1) 地域公共交通の充実								
		施策目標	町民と協同し、多様化するニーズに応じた新たな公共交通の導入を図ります。								
	根拠法令・条例等		—								
	個別計画等		大磯町地域公共交通総合連携計画								
	行政経営プラン 実施計画事業		実施番号	—			実施項目名	—			
	目的 (何のために)		①路線バスの撤退が示された富士見地区 (虫窪・黒岩・西久保地区) の公共交通の確保 ②公共交通の利用が不便な生活交通空白地域への新たな公共交通導入の検討								
	対象 (誰を・何を)		①虫窪・黒岩・西久保地区住民及び同地区を目的とする者 ②西小磯の一部地区								
内容		①富士見地区の路線バスの撤退申出を受け、撤退した路線バスの運賃を補助することで二宮駅-富士見地区間を中心とした路線バス運行事業者による運行を開始 ②地域住民有志団体「西小磯東地区地域交通推進の会」とともに検討を行い、当該地区に最も適した公共交通として乗合タクシーの運行を開始									

事業実施 (Do)	執行体制		その他					
			単位	H30年度 (決算)	R01年度 (決算)	R02年度 (決算)	R03年度 (予算)	
	直接事業費 (a)		千円	21,659	21,220	24,769	24,868	
	財源内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金						
		起債						
		その他		112	107	104	104	
	一般財源			21,547	21,113	24,665	24,764	
	職員人数 (概算職員数)		人	0.18	0.17	0.25	0.33	
	人件費計 (b)		千円	978	978	986	1,294	
総事業費 (a) + (b)		千円	22,637	22,198	25,755	26,162		
事業費内訳 (千円) R 03 年度		会議報酬：65千円、旅費：9千円、通信運搬費：23千円、乗合タクシー運行委託：1,461千円 生活交通確保対策推進事業補助金：23,300千円、自転車推進会費：10千円						
本事業が属する総合計画の中施策の成果指標			指標名			目標値		
			新たな公共交通サービスの導入			2件		
指標値	指標名		単位	項目	R01年度 (決算)	R02年度 (決算見込)	R03年度 (予算)	R07年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	交通空白地居住者 (富士見地区+乗合タクシー登録者)	人	—	860	900	970	1,000
	活動指標 (活動量)	乗車人数 (年) (補助路線バス+乗合タクシー)	人	計画値	25,000	27,000	27,000	27,000
				実績値	23,567	18,891	—	—
	成果指標 (達成度等)	新たな公共交通サービスの導入	件	目標値	2	2	2	2
実績値				1	1	—	—	
達成率				50.0%	50.0%	—	—	
定性的成果		—						

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	④ 町民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	① ある		
		関連・類似事業との統合はできないか	② 統合に向けた検討は可能		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	② 事業の方向性は適切であるが、手法は見直す余地がある		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	A. 負担導入済	A-① 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある	
	過去の外部評価における指摘事項	—			
	主な改善経過 (過去4年間)	H28 乗合タクシーの実証実験開始。また、赤坂台地区が交通不便地域（補助金）として認定。 (乗合タクシー) H29 乗合タクシーの本格運行開始。 H30 乗合タクシー本格運行2年目（利用者の増加） R01 乗合タクシー本格運行3年目（運行日数の減少を踏まえると前年度と同程度の効果） R02 乗合タクシー本格運行4年目（コロナ禍により、利用便数、利用者数の減少）			
課題 (事務の効率化)	地域交通の一定のセーフティーネットとしての役割を果たしているが、コスト高ではないかとの指摘も受けていることから、少しでも町の財政負担を減らす取組みを行う必要がある。				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R03年度	維持	R02年度	維持	R01年度	維持	
		理由	路線バス撤退地域や生活交通空白地域への交通手段として、限られた便数の中で、地域の児童、生徒の登下校、買物や通院など当初意図していた利用がなされており、交通セーフティーネットとしての役割を果たしている。							
	課題解決への視点	補助路線バス、乗合タクシー共に、不採算であった路線（地域）であるため、コスト削減は便数を減らすことに繋がり、一概にコストに対する効率性のみを求めることは適切ではない。地元住民の意識調査や運行データの精査によりダイヤ等の見直しを図り、利用者数の増加により、町の費用軽減を行う必要がある。また、同時に、より生産性が向上し、より効果的な次世代運行手段の調査・検討も必要である。								
	着手する事項	R03年度	地元住民の意識調査や運行データの精査を行う。それらの結果を踏まえ、必要に応じて、ダイヤ等の改正を行う。また、次世代運行手段の検討・調査を行う。							
		R04年度	地元住民の意識調査や運行データの精査を行う。それらの結果を踏まえ、必要に応じて、ダイヤ等の改正を行う。また、次世代運行手段の検討・調査を行う。							
	R03年度改善事項	生活交通確保対策事業の富士見地区の補助路線バスについては、大磯町内から乗換せずに直接「平塚市民病院」に行くことができる便の実証運行を開始した。 西小磯東区における乗合タクシーについては、交通不便地域に指定されている西小磯地区の一部の指定期間の更新（5年間）を行った。								
	記入日									
	令和4年3月18日									

予算事業名	歴史的建造物等維持管理事業				事業番号	03 - 12 - 23						
細分事業名	歴史的建造物等維持管理事業				シート作成日	令和3年11月19日						
予算科目	会計	01	款	08	項	04	目	01	事業	08	事業開始年度	平成26年度
												事業終了予定年度
部等名				課等名				係名				
都市建設部				都市計画課				開発指導係				

事業計画 (Plan)	総合計画	P 68	柱	Ⅲ 快適でくらしやすいまちづくり								
			部門	21 景観形成								
			大施策	A 地域特性を生かした景観形成								
			中施策	(3) 歴史的建造物などの保存と活用								
			施策目標	歴史的または文化的価値の象徴となる建造物等の保全及び活用を図ります。								
	根拠法令・条例等			大磯町邸園文化交流事業補助金交付要綱								
	個別計画等			—								
	行政経営プラン 実施計画事業			実施番号	—			実施項目名	—			
	目的 (何のために)			歴史的または文化的価値の象徴となる建造物等の保全及び活用を図る。								
	対象 (誰を・何を)			歴史的建造物及びその所有者・活用者等								
内容			町所有の国登録有形文化財 (建造物) の維持管理と町内の歴史的建造物の周知・活用活動に対し補助金を交付する。									

事業実施 (Do)	執行体制		一部委託あり					
			単位	H30年度 (決算)	R01年度 (決算)	R02年度 (決算見込)	R03年度 (予算)	
	直接事業費 (a)		千円	7,781	2,740	6,946	6,372	
	財源内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金						
		起債						
		その他						
		一般財源		7,781	2,740	6,946	6,372	
	職員人数 (概算職員数)		人	0.21	0.21	0.34	0.30	
	人件費計 (b)		千円	1,141	1,141	1,845	1,607	
総事業費 (a) + (b)		千円	8,922	3,881	8,791	7,979		
事業費内訳 (千円) R 03 年度		報償費32千円、旅費6千円、需要費2,606千円、負担金補助及び交付金600千円、積立金3,128千円						
本事業が属する総合計画の中施策の成果指標			指標名			目標値		
			景観重要建造物の指定数			6件		
指標名			単位	項目	R01年度 (決算)	R02年度 (決算見込)	R03年度 (予算)	R07年度 (目標)
対象指標 (対象者数等)	景観重要建造物の指定数		件	—	3	3	3	6
活動指標 (活動量)	歴史的建造物を活用した邸園文化交流圏大磯等の事業の開催		件	計画値	5	—	4	5
				実績値	5	—	—	—
成果指標 (達成度等)	建物語の発行		件	目標値	1冊	1冊	1冊	1冊
				実績値	1冊	1冊	—	—
				達成率	100.0%	—	—	—
定性的成果			—					

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	③ 増大している		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	④ 町民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-③ 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない	
	過去の外部評価における指摘事項	—			
	主な改善経過(過去4年間)	H29 (一般公開) 安田善次郎邸、澤田美喜記念館、(冊子) 建物語 (城山荘) H30 (一般公開) 明治記念大磯邸園、安田善次郎邸、(冊子) 建物語 (明治記念大磯邸園) R01 (一般公開) 明治記念大磯邸園、安田善次郎邸、旧吉田茂邸 (冊子) 建物語 (安田善次郎邸) R02 (一般公開) 明治記念大磯邸園、旧吉田茂邸 (冊子) 建物語 (旧吉田茂邸)			
課題(事務の効率化)	景観や観光資源・郷土資料として貴重な歴史的な建造物について、民間所有者や団体の協力を得ながら、保存活用を検討する必要がある。				

今後の方向性の判断	区分	維持	R02年度	維持	R01年度	維持	H30年度	拡充
	理由	町内に現存する歴史的建造物並びに邸宅及び庭園(以下これらを「邸園」という。)の魅力を広く発信し、本町に訪れる観光客の増加を目指すとともに、郷土の歴史・文化を次代に引き継ぐため歴史的建造物に関する冊子の作成を支援する。						
課題解決への視点		大磯町の歴史・文化また景観を形成してきた貴重な歴史的建造物について、建物語(冊子)として残すべき建物の選定を行う必要がある。						
着手する事項	R03年度	歴史的建造物活用観光事業の支援及び歴史的建造物紹介冊子(建物語)の作成を支援する。経年劣化している大磯駅前洋館の修繕を行う。						
	R04年度	歴史的建造物活用観光事業の支援及び歴史的建造物紹介冊子(建物語)の作成を支援する。経年劣化している大磯駅前洋館の修繕を行う。						
R03年度改善事項		歴史的建造物を活用した、邸園文化交流事業(大磯邸園フォーラム及びガイドツアー、大磯建物語の作成)への支援を行った。 経年劣化している大磯駅前洋館の修繕を行った。						
記入日		新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の低迷を鑑み、定期建物賃貸借の終期を1年延長した。また、次回活用事業者募集要項の見直しを行った。						
令和4年3月18日								

予算事業名	公園運営事務事業							事業番号	03 - 12 - 26			
細分事業名	公園緑地維持管理事業							シート作成日	令和3年11月19日			
予算科目	会計	01	款	08	項	04	目	02	事業	01	事業開始年度	—
											事業終了予定年度	—
部等名				課等名				係名				
都市建設部				都市計画課				都市計画係				

事業計画 (Plan)	総合計画	柱	Ⅲ 快適でくらしやすいまちづくり									
		部門	15 自然環境・公園									
		大施策	B 緑化の推進									
		中施策	(1) 緑地の保全・再生									
		施策目標	市街地における緑地を保全・再生し、地域の緑を守り育てる活動を推進します。									
	事業の概要		根拠法令・条例等	都市公園法、町都市公園条例								
			個別計画等	大磯町みどりの基本計画								
			行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—			実施項目名	—			
			目的 (何のために)	町民のレクリエーション、健康増進及び福祉の向上の場として公園の利用促進を図るとともに、自然景観を維持するため、緑地の維持管理を実施								
			対象 (誰を・何を)	町内の都市公園・緑地 (街区公園：42箇所、都市緑地：8箇所)								
		内容	既設公園・緑地の清掃、除草、清掃ゴミの収集運搬、樹木剪定、遊具点検、修繕等を実施するとともに、公園利用者からの要望や意見に対する対応を行っている。									

事業実施 (Do)	執行体制		一部委託あり				
			単位	H30年度 (決算)	R01年度 (決算)	R02年度 (決算)	R03年度 (予算)
	直接事業費 (a)		千円	22,174	23,130	24,643	26,076
	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金					
		起債					
		その他					
		一般財源		22,174	23,130	24,643	26,076
	職員人数 (概算職員数)		人	0.28	0.24	0.33	0.39
	人件費計 (b)		千円	2,106	1,414	1,949	2,302
総事業費 (a) + (b)		千円	24,280	24,544	26,592	28,378	
事業費内訳 (千円) R 03 年度		旅費：11千円、消耗品費：91千円、燃料費：88千円、光熱水費：2,030千円、修繕料：1,650千円、車検等修繕料：10千円、手数料：245千円、自動車損害保険料：15千円、傷害保険料：16千円、管理委託料：18,472千円、保守委託料：317千円、用地借上料：1,048千円、修繕用材料費：73千円、工事請負費：1,780千円、公園協会負担金：8千円、里親助成金：222千円					
本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値	
		一人当たりの施設緑地面積				61.92㎡/人	
指標名		単位	項目	R01年度 (決算)	R02年度 (決算見込)	R03年度 (予算)	R07年度 (目標)
対象指標 (対象者数等)	都市公園数 (都市緑地含)	箇所	—	54	54	54	55
活動指標 (活動量)	公園緑地アダプト制度及び花いっぱい運動の登録数	件	計画値	10	10	11	12
			実績値	10	10	—	—
成果指標 (達成度等)	一人当たりの施設緑地面積	㎡/人	目標値	57.62	57.62	61.92	61.92
			実績値	57.62	57.62	—	—
			達成率	100.0%	100.0%	—	—
定性的成果		—					

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はあるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである	
	過去の外部評価における指摘事項	—			
	主な改善経過(過去4年間)	定例的な既設公園・緑地の樹木等施設管理以外に、個別で樹木剪定を行い施設の適正管理を図っている。また、遊具に関しても法定点検の結果を踏まえ、適切に修繕等を実施している。			
課題(事務の効率化)	公園施設が老朽化している。また、公園利用者ニーズの変化も併せて見極めつつ、計画的な施設更新または機能維持を行う必要がある。				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R02年度	維持	R01年度	維持	H30年度	維持	
		理由	町民の都市公園等利用の安全、安心に資するため、引き続き適正な管理、運営を行う。							
	課題解決への視点	既存公園の施設については、全体的に老朽化が進んでいることから、安全・安心の面から遊具を含めた公園施設の点検・修繕に努めていく。								
	着手する事項	R03年度	前年度に引き続き、安全、安心な公園運営を行うため、遊具を含む公園施設の点検・修繕や、樹木剪定・清掃等を着実に実施する。							
		R04年度	引き続き遊具の点検を実施し、さらに経年劣化による遊具以外の公園全体の施設の管理に努める。							
	R03年度改善事項	安全・安心な都市公園環境を整備するため、令和2年度の遊具安全点検結果を踏まえ、既設遊具の修繕及び撤去を実施した。また、要望のあった公園について、古くなった公園設備の撤去及び新設を行った。								
	記入日	なかよし公園、馬場公園のトイレ改修工事を行った。								
	令和4年3月18日	公園緑地里親(アダプト)制度の新規登録団体1件があった。								

予算事業名	運動公園維持管理事業				事業番号	03 - 12 - 27						
細分事業名	運動公園維持管理事業				シート作成日	令和3年11月19日						
予算科目	会計	01	款	08	項	04	目	02	事業	06	事業開始年度	平成18年度
											事業終了予定年度	—
部等名				課等名				係名				
都市建設部				都市計画課				都市計画係				

事業計画 (Plan)	総合計画	P 56	柱	Ⅲ 快適でくらしやすいまちづくり			
			部門	15 自然環境・公園			
			大施策	C 特色ある公園づくり			
			中施策	(1) 公園づくり・管理運営			
			施策目標	町民意向を反映し、町民参加による公園づくりを推進します。			
	根拠法令・条例等		都市公園法、町都市公園条例				
	個別計画等		大磯運動公園施設長寿命化計画				
	行政経営プラン 実施計画事業		実施番号	—		実施項目名	—
	目的 (何のために)		町民のレクリエーション、健康増進及び福祉の向上の場として利用増進を図るため				
	対象 (誰を・何を)		大磯運動公園 (野球場、多目的広場、テニスコート4面等)				
内容		町都市公園条例に基づき、指定管理者を指定し、運動公園の運営管理や自主事業の開催、公園施設の維持管理業務などを行っている。					

事業実施 (Do)	執行体制		全部委託				
			単位	H30年度 (決算)	R01年度 (決算)	R02年度 (決算見込)	R03年度 (予算)
	直接事業費 (a)		千円	22,540	21,605	26,199	30,543
	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金					
		起債					
		その他					
		一般財源		22,540	21,605	26,199	30,543
	職員人数 (概算職員数)		人	0.26	0.24	0.50	0.55
	人件費計 (b)		千円	1,702	1,414	1,972	2,266
総事業費 (a) + (b)		千円	24,242	23,019	28,171	32,809	
事業費内訳 (千円) R 03 年度		修繕料：600千円、通信運搬費：118千円、自動車損害保険料：30千円、管理委託料：22,500千円、物品借上料：595千円、工事請負費：6,000千円、機械器具購入費：700千円					
本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値		
		運動公園施設利用者数			15万人以上		
指標名		単位	項目	R01年度 (決算)	R02年度 (決算見込)	R03年度 (予算)	R07年度 (目標)
対象指標 (対象者数等)	有料施設の登録団体数	人	—	2,800	2,900	3,000	3,800
活動指標 (活動量)	自主事業のメニュー数	件	計画値	22	21	23	25
			実績値	22	11	11	—
成果指標 (達成度等)	有料施設の利用者数	人	目標値	67,000	67,000	67,000	67,000
			実績値	126,000	90,811	136,000	—
			達成率	188.1%	135.5%	203.0%	—
定性的成果		—					

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	A. 負担導入済	A-② 適正な受益者負担を導入している	
	過去の外部評価における指摘事項	-			
	主な改善経過(過去4年間)	H29 指定管理者自主事業数13項目→16項目 H30 指定管理者自主事業数16項目→18項目 R01 指定管理者自主事業数22項目→22項目 R02 指定管理者自主事業数21項目→11項目			
課題(事務の効率化)	魅力ある自主事業の実施などにより、さらなる利用者の拡大に取り組む必要がある。				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R02年度	維持	R01年度	維持	H30年度	維持	
		理由	利用者増に資するため、引き続き適正な管理、運営を行う。							
	課題解決への視点	運動公園における多様化するニーズに対応するため、多目的で効率的な管理、運営に取り組む必要がある。また、大磯運動公園長寿命化計画に基づき改修の必要性が高い施設から順次改修を行う。								
	着手する事項	R03年度	管理棟前広場噴水ポンプ交換及び給湯器の交換を行う。							
		R04年度	大磯運動公園施設長寿命化計画に基づき改修の必要性が高い施設から順次改修を行う。また経年劣化が著しい施設の改修、交換を検討する。							
	R03年度改善事項	安定した電力供給を保つために経年劣化したPAS(高圧電力開閉器)交換及び、いつでも安心して快適な公園利用ができるように、「通常時の安定した水質供給」と「災害時の給水機能の強化」を図るため給水管改造工事を行った。								
	記入日	また、令和2年11月より開始した指定管理者の自主事業ジョギングイベント「parkrun」が開催50回を越えた。(毎週土曜日開催)								
	令和4年3月18日									

予算事業名	児童遊園維持管理事業							事業番号	03 - 12 - 28		
細分事業名	児童遊園維持管理事業							シート作成日	令和3年11月19日		
予算科目	会計	01	款	08	項	04	目	02	事業	01	
	事業開始年度										—
事業終了予定年度										—	
部等名				課等名				係名			
都市建設部				都市計画課				都市計画係			

事業計画 (Plan)	総合計画	柱	令和4年度以降 公園運営事務事業へ統合									
		部門										
		大施策										
		中施策										
		施策目標										
	事業の概要	根拠法令・条例等		児童福祉法、町児童遊園条例								
		個別計画等		—								
		行政経営プラン 実施計画事業		実施番号					実施項目名			
		目的 (何のために)		児童のレクリエーション等の場として利用促進を図るため								
		対象 (誰を・何を)		山王町児童遊園								
内容		児童遊園の清掃、除草、清掃ゴミの収集運搬、樹木剪定、修繕等の維持管理業務実施するとともに、利用者等からの要望や意見に対する対応等を行っている。										

事業実施 (Do)	執行体制		一部委託あり					
	事業費	財源内訳	単位	H30年度 (決算)	R01年度 (決算)	R02年度 (決算見込)	R03年度 (予算)	
			直接事業費 (a)	千円	1,379	1,250	1,182	1,524
			国庫支出金	千円				
			県支出金					
			起債					
			その他					
		一般財源	1,379		1,250	1,182	1,524	
	職員人数 (概算職員数)	人	0.21	0.18	0.18	0.24		
	人件費計 (b)	千円	1,185	1,060	1,536	1,416		
総事業費 (a) + (b)	千円	2,564	2,310	2,718	2,940			
事業費内訳 (千円) R 03 年度		光熱水費：55千円、修繕料：370千円、管理委託料：400千円、保守委託料：11千円、使用料及び賃借料：688千円						
本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値		
		—				—		
指標値	指標名		単位	項目	R01年度 (決算)	R02年度 (決算見込)	R03年度 (予算)	R07年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	要望等の件数	箇所	—	9	5	7	7
	活動指標 (活動量)	要望等の処理件数	件	計画値	7	5	7	7
				実績値	7	5	7	7
	成果指標 (達成度等)	清掃箇所 (草刈、除草含む)	箇所	目標値	100.00	100	100	100
				実績値	90.00			
達成率				90.0%	0.0%	0.0%	—	
定性的成果		—						

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	① 統合できる		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである	
	過去の外部評価における指摘事項	—			
	主な改善経過(過去4年間)	公園近隣住民から公園内でのボール遊びのボールが自宅の壁に当たることや、敷地内に入り込んだボール拾いに人が無断で立ち入る等の苦情を受け、公園内のボールが外に飛び出さないように、仮設のフェンスを設置し、苦情の対応を図った。			
課題(事務の効率化)	既存公園施設が老朽化している。遊具法定点検の指摘事項を踏まえ、適切な時期での施設修繕を行う必要がある。				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	縮小	R02年度	縮小	R01年度	縮小	H30年度	縮小	
		理由	地元ボランティアの方々の協力を得て、管理費の削減に努める。							
	課題解決への視点	既存公園の施設については、全体的に老朽化が進んでいることから、安全・安心の面から遊具を含めた公園施設の点検・修繕に努めていく。 また、園内のボール遊びについて、減ってはきているが、苦情、要望も寄せられているため、遊び方の周知の徹底、ボールが園外に飛び出さないような措置を講ずる必要がある。								
	着手する事項	R03年度	前年の遊具点検結果を踏まえ、安全、安心な公園運営を行うため、利用者が安心して利用できるよう必要な修繕を行う。							
		R04年度	前年の遊具点検結果を踏まえ、安全、安心な公園運営を行うため、利用者が安心して利用できるよう必要な修繕を行う。							
	R03年度改善事項	老朽化した児童遊園の遊具の修繕を実施した。また、公園トイレの改修を行った。								
	記入日									
	令和4年3月18日									

予算事業名	花とみどり推進事業				事業番号	03 - 12 - 32						
細分事業名	花とみどり推進事業				シート作成日	令和3年11月19日						
予算科目	会計	01	款	08	項	04	目	02	事業	01	事業開始年度	平成18年度
											事業終了予定年度	—
部 等 名				課 等 名				係 名				
都市建設部				都市計画課				都市計画係				

事業計画 (Plan)	総合計画	P 68	柱	Ⅲ 快適でくらしやすいまちづくり			
			部 門	21 景観形成			
			大施策	A 地域特性を生かした景観形成			
			中施策	(1) 自然風景の保全と創出 / (2) 良好な町並みの保全と創出			
			施策目標	山並みや海、町並みなどの豊かな風景を守り、育み、創ります。 / 住宅地の町並みや緑などの豊かな風景を守り、育み、創ります。			
	根拠法令・条例等		大磯町いけがき設置奨励事業補助金交付要綱、大磯町シンボルツリー奨励事業補助金交付要綱 大磯町花いっぱい運動推進要綱、大磯町保存樹木等助成金交付要綱				
	個別計画等		大磯町緑の基本計画				
	行政経営プラン 実施計画事業		実施番号	—		実施項目名	—
	目的 (何のために)		いけがき設置やシンボルツリー植栽による敷地内緑化による良好な景観形成の推進 町民等によるボランティア団体が主体となって、花や緑の植栽の維持管理等の活動に参加することにより、花に親しむ機会を拡大するとともに、心のやすらぎと美化意識の高揚を図るために行う大磯町花いっぱい運動の推進 ・保存樹木等保全に関する経費の助成				
	対象 (誰を・何を)		いけがき設置、シンボルツリー植栽、保存樹木等の保全及び花いっぱい運動に要する経費				
内容		敷地内に植栽するシンボルツリーに関する費用の助成 敷地外構にいけがきを設置するために要する経費の助成 ボランティア団体による花いっぱい運動に要する経費の助成 保存樹木等の保全に関する経費の助成					

事業実施 (Do)	執行体制		職員実施						
	事業費	財源内訳	直接事業費 (a)	千円	491	932	476	678	
			国庫支出金	千円	県支出金				
					起債				
					その他				
					一般財源	491	932	476	678
	職員人数 (概算職員数)	人	0.14	0.18	0.28	0.30			
	人件費計 (b)	千円	808	1,016	1,016	1,771			
	総事業費 (a) + (b)	千円	1,299	1,948	1,492	2,449			
	事業費内訳 (千円) R 03 年度		旅費：4千円、消耗品費：83千円、傷害保険料：28千円、かながわトラスト負担金：30千円、いけがき設置奨励事業費補助金：90千円、シンボルツリー奨励事業補助金：100千円、花いっぱい運動事業交付金：145千円、保存樹木：198千円						

指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			保存樹木の指定本数 いけがき設置奨励助成の総延長				18本 1,000m	
	指標名		単位	項目	R01年度 (決算)	R02年度 (決算見込)	R03年度 (予算)	R07年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	施設緑地量	ha	—	180	180	180	180
					計画値	13	13	18
	活動指標 (活動量)	保存樹木の指定本数	本	実績値	13	13	14	—
					目標値	1,000	1,000	1,000
	成果指標 (達成度等)	いけがき設置奨励助成の総延長	m	実績値	834	846	—	—
					達成率	83.4%	84.6%	—
	定性的成果		—					

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	② 廃止・休止による影響は小さいがある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
事業の上位施策に向けた貢献度は大きい		③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している			
公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-① 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある		
	過去の外部評価における指摘事項	—			
	主な改善経過 (過去4年間)	花いっぱい運動、公園・緑地里親制度で、活動団体の自主的な運動を推進するため、従来の花苗の支給から、交付金の支給に切り替え、団体の自主性の拡大を図っている。			
	課題 (事務の効率化)	活動のボランティア団体数が伸び悩んでいる現状がある。広報・ホームページ等での普及、啓発をさらに進めていく。			

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	拡充	R02年度	拡充	R01年度	拡充	H30年度	拡充	
		理由	ボランティア団体の自主的な活動をさらに推進するため、交付金による活動団体数を増加させていく。							
		課題解決への視点	活動を希望する団体に対し、気軽に活動できるようなシステムの構築を図っていく。							
	着手する事項	R03年度	町広報やホームページへの記事の掲載等により、制度の普及、啓発にいつそう努める。							
		R04年度	町広報やホームページへの記事の掲載等により、制度の普及、啓発にいつそう努める。							
		R03年度改善事項	大磯町緑化の推進及び緑の保全に関する条例に基づき、いけがき設置、シンボルツリー、保存樹木奨励事業を行った。令和3年度は新規保存樹木の登録が1件あった。							
	記入日	令和4年3月18日								

予算事業名	松くい虫被害対策自主事業							事業番号	03 - 12 - 35		
細分事業名	松くい虫被害対策自主事業							シート作成日	令和3年11月19日		
予算科目	会計	01	款	08	項	04	目	03	事業	03	
	事業開始年度 昭和57年度										
事業終了予定年度 —											
部等名				課等名				係名			
都市建設部				都市計画課				都市計画係			

事業計画 (Plan)	総合計画	P	柱	—							
			部門	—							
			大施策	—							
			中施策	—							
			施策目標	—							
	事業の概要		根拠法令・条例等	森林病害虫防除法							
			個別計画等	—							
			行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—			実施項目名	—		
			目的 (何のために)	優れた風致景観と防風等の機能を有している松の保全を図るため							
			対象 (誰を・何を)	松くい虫被害対策自主事業計画に基づいた松							
		内容	松くい虫被害の予防対策として樹幹注入、松くい虫の駆除対策として特別伐採委託により実施する。								

事業実施 (Do)	執行体制		一部委託あり					
			単位	H30年度 (決算)	R01年度 (決算)	R02年度 (決算)	R03年度 (予算)	
	直接事業費 (a)		千円	2,276	1,640	1,364	2,232	
	財源内訳	国庫支出金	千円	515				
		県支出金						
		起債						
		その他						
		一般財源		1,761	1,640	1,364	2,232	
	職員人数 (概算職員数)		人	0.22	0.18	0.16	0.19	
	人件費計 (b)		千円	1,241	1,060	1,654	1,121	
総事業費 (a) + (b)		千円	3,517	2,700	3,018	3,353		
事業費内訳 (千円) R 03 年度		委託料 (特別伐倒) 2,196千円、苗木代36千円						
本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値		
		—				—		
指標値	指標名		単位	項目	R01年度 (決算)	R02年度 (決算見込)	R03年度 (予算)	R07年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	樹幹注入対象木の本数	本	—	210	210	210	210
	活動指標 (活動量)	樹幹注入対策の実施本数 (210本/6年ロテーション=35本)	本	計画値	0 (計画空白年)	0 (計画空白年)	43	35
				実績値	0	0	—	—
	成果指標 (達成度等)	松くい虫被害木特別伐倒実施本数	本	目標値	20本以下	20本以下	20本以下	15本以下
実績値				21本	22本	—	—	
達成率				▲1	▲2			
定性的成果		—						

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	② 廃止・休止による影響は小さいがある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-① 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある	
	過去の外部評価における指摘事項	—			
	主な改善経過(過去4年間)	国の制度改正等により、樹幹注入の実施方法が変更になり、町の負担が増加することが予測される。			
課題(事務の効率化)	平成29年に、補助金の対象となる樹幹注入対象木の考え方が示されたことにより、補助金の対象となる松が減少するため、場所に応じた適切な防除方法や他の補助金の活用ができるか等検討を進める必要がある。				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R02年度	維持	R01年度	維持	H30年度	維持	
		理由	町内に残る貴重な松を今後も維持保全していくため、松枯れの防除等は引き続き事業を継続していく。							
		課題解決への視点	国の制度改正に伴い、町の現状にあった補助の内容等を精査し、柔軟な対応に心がける。							
		着手する事項	R03年度	国の制度改正に柔軟に対応し、確実な松くい虫防除を実施する。						
			R04年度	国の制度改正に柔軟に対応し、確実な松くい虫防除を実施する。						
	R03年度改善事項	松くい虫被害対策として、被害木伐倒及び樹幹注入を行った。 第6次神奈川県松くい虫被害対策事業推進計画の作成に伴い、樹幹注入業務のローテーションや対象地の見直しを行った。 松くい・ナラ枯れ被害から見直す地域の森の育て方の講習会を行った。(座学：保健センター、実習：大磯運動公園)								
	記入日	令和4年3月18日								